

迫りくる大地震に備えて

令和6年元日に北陸地方で起こった能登半島地震。最大震度7を記録し、多数の死傷者や甚大な被害が発生したことは記憶に新しいと思います。私たちの住む山梨県でも近い将来、南海トラフ地震や首都直下型地震による被害発生可能性があります。ここでは右のページで大地震の発生に備え各ご家庭で備えておくべきことやもの、左のページで能登半島地震の際にも当消防本部からも実際に出場した緊急消防援助隊について、ご紹介させていただきます。



緊急消防援助隊とは？

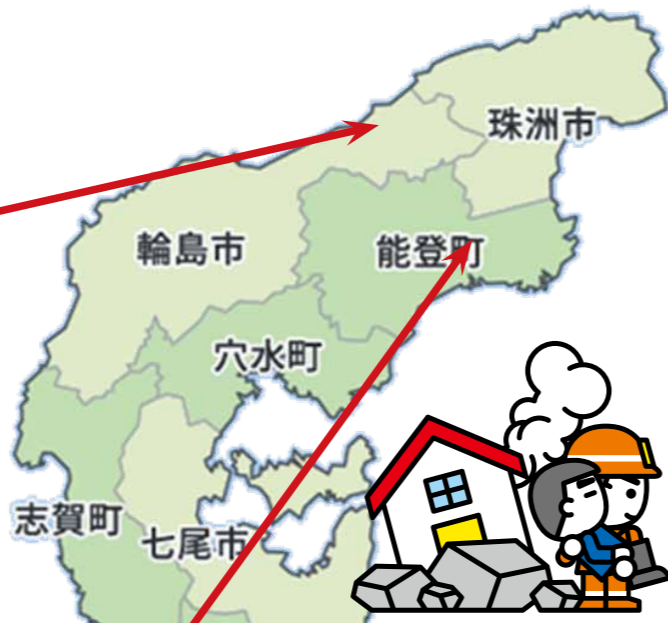
平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に国家的観点から、人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成7年6月に創設されました。

各ご家庭で備えておくべきこと、もの

まずはご自宅内の安全対策、最寄りの避難所の位置と経路の確認、非常時の家族間の連絡方法について、事前にご家庭でよく話し合っておきましょう。

そして被災したことを考え、数日分の非常食や水、着替え等を入れた非常用持ち出しバッグの準備も行っておきましょう。

活動状況



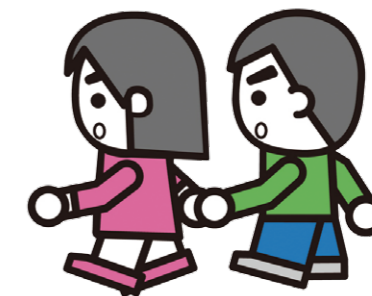
家具の転倒防止



避難経路等の話し合い



食料や生活用品等の準備



備えあれば憂いなし！

宿営地：柳田植物公園



宿営テント

災害用トイレ

調理場

食事場所

準備しておくものは着替えや携帯電源等をはじめとした生活用品だけでなく、日常的に内服している処方薬やコンタクトレンズ等、各個人でしか必要とならないものも多数あります。ご家庭で話し合う中で、個人個人でも非常時に必要なものについてこの機会によく考え、非常時に備えましょう。